

総合地球環境学研究所特任教授の公募について

1. 所属・職種及び人数

研究部・特任教授（プログラムディレクター） 1名

※定年年齢の定めなし。

2. 任期

着任日から平成34年3月31日までの最大5年8ヶ月（人間文化研究機構第3期中期計画期間に対応）

※大学共同利用機関法人人間文化研究機構特定有期雇用職員規程及び総合地球環境学研究所特定有期雇用職員規則による。

3. 職務内容

下に示す3つの実践プログラムのうち、実践プログラム3の研究活動の総括

本研究所では、第3期中期目標・中期計画期間（平成28年度-平成33年度）において、これまで個別的行われてきた研究プロジェクトを、以下の3つの実践プログラムのいずれかに配属させて「実践プロジェクト」と呼称することとし、多様な実践プロジェクトを束ねることで初めて可能となるような地球環境問題の解決に資する新しい地球環境学の構築にプログラム単位で取り組むことを目指しています。

●実践プログラム1：環境変動に柔軟に対処しうる社会への転換

人間活動に起因する環境変動（地球温暖化、大気汚染などを含む）と自然災害に柔軟に対処しうる社会への転換を図るため、具体的なオプションを提案する。

●実践プログラム2：多様な資源の公正な利用と最適管理

水資源・生態資源を含む多様な資源の公正な利用と最適な管理、賢明なガバナンスを実現するため、資源の生産・流通・消費に関わる多様なステークホルダーに対して、トレードオフを踏まえた多面的なオプションを提案する。

●実践プログラム3：豊かさの向上を実現する生活圏の設計

都市や農山漁村からなる生活圏における居住環境の改善と、生活圏相互の連関を通じた豊かさの向上を実現するために、実現可能な選択肢を提案する。

今回の公募は実践プログラム3についての研究活動の統括を行うプログラムディレクターを募集いたします。このプログラムディレクターの職務内容は以下のとおりです。

①当該プログラムに属する実践プロジェクトの新規公募ならびに実践プロジェクトへの助言等のマネジメントを行い、②年度ごとに当該実践プログラムの実施計画・研究成果・運営についての外部評価を受け、③それらを反映させて当該実践プログラムの目標達成に向けた研究活動を総括する。④さらに実践プログラム及び本研究所の研究戦略、運営等の中心的な役割を果たす。

このプログラムでは特にアジアにおける近未来の生活圏のあり方、持続可能で安心安全な都市のあり方、都市と農山漁村の連関のあり方、人々のライフスタイルや福祉のあり方などについて、グローバリゼーションや社会変動下での食・消費、流通・交通、健康・衛生問題など、生活圏における様々な問題の解明、解決に向けて、包括的な視点で議論のできる方を求めます。専門分野は問いませんが、都市計画、都市・農山漁村をふくむ生活圏に関する人類学・経済

学・社会学・地理学なども含め、学際的研究や自治体や産業との超学際的研究も視野に入れた研究の推進と統括ができる方を期待しています。

なお、本研究所や各プログラムに配属予定の現行プロジェクトについては、ホームページ (<http://www.chikyu.ac.jp/>) をご参照ください。

4. 応募条件

- (1) 認識科学・設計科学・社会実装等視点の異なる多様なプロジェクトを束ねることで初めて可能となるような、地球環境学の構築に向けての成果をプログラムとして生み出せる能力を有すること。
- (2) 複数のプロジェクト間の協調からブレークスルーおよびシナジー効果を引き出すことができるようなプログラム運営ができる広い視野と見識を持っていること。
- (3) 外部資金の獲得に豊富な経験と実績を持ち、それらをプログラム運営に反映できる能力を有すること。
- (4) 地球環境研究に関する国際機関を含む研究機関等において、人的ネットワークをすでに構築し、国際機関等との連携方法に関する戦略と経験を有すること。
- (5) 資料等の作成や、会議等における発言、提案を含むコミュニケーションが日本語及び英語でできること。
- (6) 地球環境学に幅広い関心を有し、原則として博士の学位を有すること。

5. 着任時期日

平成28年8月1日以降できるだけ早い時期

6. 応募期限

平成28年3月31日（木）午後5時（必着）

7. 労働条件

- ①給 与：年俸制（人間文化研究機構特定有期雇用職員規定による）
- ②勤務形態：始業8時30分、終業17時を基本とする裁量労働制
- ③休 日：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日から1月3日まで）
- ④そ の 他：文部科学省共済組合、雇用保険に加入

8. 提出書類 [書類は日本語または英語]

- ①履歴書（A4版、写真貼付）
 - ②業績リスト（共著による論文や著作、刊行物等については、共著者等を全て記入してください。様式は任意）
 - ③業績資料（主要な論文、著作、刊行物等を5点程度提出してください。コピー可）
 - ④実践プログラム3の運営方針の構想を中心にした職務内容についての抱負（1,500～2,000字程度、英文の場合はA4版用紙2枚以内、様式は任意）。なお、平成27年度で終了するプロジェクトを除く現行のフルリサーチ・プロジェクトを考慮の上、構想してください。
 - ⑤職務内容に関するこれまでの経験と実績（上記の応募条件を満たすことも含めて、社会にインパクトを与えたと考えられるこれまでの実績を詳しく記載してください。1,500～2,000字程度、英文の場合はA4版用紙2枚以内、様式は任意）
 - ⑥応募者について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先（電話、Fax及びE-mailアドレス）
- ※上記の提出書類はA4版横書きとし、それぞれ別様式として各葉に氏名を記入してください。なお、提出いただいた書類は原則返却しませんが、③の業績資料について特に返却の希望がある場

合には、②業績リスト末尾にその旨明記していただければ返却いたします。
※応募書類は当人事委員会の審査資料としてのみ使用するもので、他には一切使用いたしません。

9. 選考方法

提出書類により書類審査を行います。書類審査で選考された方には、本研究所の全プロジェクトリーダー等と個別面談を行っていただきます。その上で、セミナーにて研究構想を発表いただきます。セミナーでの発表及び質疑応答が、審査の対象となります。プロジェクトリーダー等との面談は平成28年4月に、セミナーは平成28年5月に、いずれも本研究所で行っていただきます。

その際の旅費については人間文化研究機構旅費規程及び同機構旅費取扱規則に基づき支給します。面談及びセミナーについての詳細については、書類審査の後に別途お知らせします。

10. 書類提出先

応募書類は郵送で提出願います。

書類郵送先：総合地球環境学研究所 管理部企画連携課人事係 宛
(〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4)

※封筒表面に必ず「プログラムディレクター応募書類」と朱書の上、簡易書留郵便にて送付して下さい。

11. 問い合わせ先

総合地球環境学研究所 人事委員会 (担当 谷口真人教授)

電話：075-707-2100 [総合地球環境学研究所代表] E-mail：makoto*chikyuu.ac.jp
(*を@に変更してください)

以上